

奨学生からのお礼の言葉

今年度は皆様方のご支援・ご協力により7,725人の恵まれない子どもたちが奨学金の提供を受けることが出来ました。奨学生を受給しました子どもたちの中から、2023年度、1年分の奨学金を受け取ることになったチョムジャン君の話と奨学金の支援者の方への御礼メッセージをご紹介します。



チョムジャン・ジャンロードさん(男の子、ニックネームはマカウィット)
14歳、ナコンラーチャシーマー県 バンノーンマーク中学校
2023年度、中学3年生で1年分の奨学金を受給

チョムジャンは義理の父と異母の妹と暮らしています。義理の父は、工事と農作業の日雇いの仕事をしています。収入を得て家族を養うために時々他県に仕事に行くこともありますので、妹と2人だけで家で暮らさなければならないこともあります。義理の父が他県に仕事に行っている時は、全ての家事を自分でやらなければなりません。

家はレンガ造りの壁と瓦屋根の平屋です。電気はなく、夜はランプを使う必要があります。

トイレはレンガ造りの四角い部屋で、日光や雨を防ぐ屋根はありません。トイレに扉はなく、布で代用しています。料理をする時は、薪でご飯を炊きおかずを作ります。チョムジャンの生活環境はとても劣悪です。

チョムジャンの成績は中程度です。色々な家事をこなさなければならないことで、勉強をする時間があまりないからです。学校にいる時はいつもきちんとしていて、物静かで、先生や友達を助けるのが好きな優しい子どもです。

チョムジャンは奨学金を受け取った後、それを下さった方に感謝のメッセージを書きました。

「今回奨学金を受け取ることができて、とても嬉しいです。私は優秀ではないですが、少なくとも中学は卒業したいです。このお金は学用品や制服を買うため、通学の交通費のために使います。私の家族は貧しいので、職業専門学校に進学できるかは分かりません。最後に、私に奨学金を下さった方に改めて感謝を申し上げます。私は一生懸命勉強して、良い人になることを約束します」



時々妹と二人で暮らしています。

中学を卒業したら、チョムジャンは車の整備の職業専門学校に進学するつもりです。将来は妹の面倒を見るために、車の整備士になって家の近くで仕事をするを希望しています。



学校の先生と近所の人たちがチョムジャンの家を修理してくれています。

また、2024年度の奨学金の募集を開始しました。募集期間は2023年7月から2024年6月までです。来年2024年5月に進学・進級する子どもたちに対しましても、引き続き温かいご支援・ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

ニュース・活動報告

2023年度の実績報告

2023年度はタイの子どもたちへの教育機会提供支援に関し、皆様より様々な面で大変お世話になり、誠にありがとうございました。2023年度募金活動の最終的な実績は7,725人分(昨年度7,959人)となりました。この内訳は、中学就学支援:6,278人分/高校・専門学校就学支援:816人分/障がい児支援:406人分/タイ深南部3県の孤児支援:208人分/大学支援:17人分となっています。

クラウドファンディングの実績報告

これまでのプログラムでは支援が届かなかった他の恵まれない子どもたちや学校へも手を差し延べる為、ご支援いただく皆様のご都合のつく範囲の金額でご寄付いただくことが可能な「Taejai」のサイトと協力し、クラウドファンディングという募金方法を導入しました。今年度この方法で3種類のプロジェクトを推進し、下記の結果となりました。

- 1) タイの恵まれない生徒たちに1,000足の学校用靴を提供するキャンペーン462,000 パーツの目標を達成しました。
目標:1,000足⇒結果:1,202足・・・目標達成!!
- 2) Save Drop Out Students Year 2 (中途退学から救うキャンペーン2年目)
中学2年生と3年生の子どもたち150人が無事に卒業できるための特別奨学金支援。
目標:150人分の奨学金:412,500パーツ 結果:95,092パーツ (34人分)
- 3) I'm ABLE(わたしはできる)障がい児の通常学級通学を支援する奨学金プロジェクト。
目標:150人分の奨学金の825,000パーツ。結果:103,427パーツ (18人分)

セーフティ・スクールプロジェクトを開催



UBS Securities(Thailand)Ltd.の支援のもと、チャチュンサオ県にある3校の生徒等を対象とした「セーフティ・スクール」というプロジェクトの訓練を開催しました。参加者全員は、CPR、熱中症、溺れている人を見た時や、火事発生等のような緊急事態への適切な対処方法を実地訓練を通して学びました。

環境保全の必要性認識へのトレーニング(学生たちの体験学習)



バンク・オブ・アメリカの援助を受け、ラーチャブリー県とカンチャナブリー県にある合計12校の生徒のリーダーと教師を対象に、「キャリアと環境開発」というコンセプトの下で「環境に優しい パッケージングデザイン」のトレーニングが開催されました。環境、社会、ガバナンスを重視している同社のポリシーに基づく理論と実践の両面からのトレーニングは、「環境により適合した包装の在り方の探求」を通して環境保全活動を促進すると共に、学生たちの将来の進路への選択肢を提供できるロールモデルとなる学校を創ることも目指しています。

HPが生徒と教師にDigital Youth Project Trainingを開催。



コンピューターの大手企業のHP Inc (Thailand) LtdとHP Foundationは、EDFと提携し、Pathum Thani県とNakhon Pathom県の学校で生徒と教師のためにDigital Youth Project Trainingというトレーニングプログラムを開催しました。生徒と教師は、支援者により提供されたデジタルリテラシーに関する講習会を通じ、QRコードの使い方、教育発展のための情報技術の利用、ビデオ制作、ソーシャルメディア、グラフィック制作などデジタル技術への理解とその適切な活用の様々な方法やテーマについて学ぶことができました。

AWCがタイ東北地方の高校で英語学習の活動を開催



The American Women's Club of Thailand (AWC) (在タイアメリカ婦人協会)共同代表のJennifer Sparks氏をはじめ、当会のメンバーで寄付をされた数名の方々は、EDFの協力のもと、支援対象となったNakhon Phanom県のNong Bo Wittayanukul学校とUthen Pattana学校で、高校生たちへの英語による体験学習の活動を推進しました。

弊財団は2023年8月を以て、下記の住所に移転致しましたのでお知らせ致します。
尚、電話番号と各担当のメールアドレスには変更ありません。今後引き続き宜しくお願いいたします。